

「市長と語る会」を開催しました

江頭実市長が掲げる「安心・安全の癒しの里」の実現を目指す、市民協働のまちづくりを進めるため、「市長と語る会」を開催しました。

8月6日の泗水公民館を皮切りに、

15日に七城公民館、19日に旭志公

民館、22日に菊池市文化会館で開催しました。4日間で延べ186人の市民の皆さんにお越しいただき、市民の生の声を聴くことができました。

会場で行ったアンケート調査でも、

「市長を身近に感じることができた」、「毎年開催してほしい」、「桜だけじゃなく紅葉も植えたらどうか」、「若い人の参加が少ないのが残念」などの回答をいただきました。これらのご意見やアンケート内容は、職員全員で市政運営に反映するよう努めていきます。

市民からのご意見と市長による回答の一部を掲載します。その他の内容はホームページをご覧ください。

泗水会場

市民 市長が掲げる施策を具体的に進める組織や人材はどうしますか。

市長 私は、「まちおこしは心おこし」だと思っています。もちろん市職員もこの組織に入りますが、基本は市民の



皆さんの知恵を生かし、ぜひ一緒にやっていたけるとありがたいです。

市民 菊池川の堤防に桜並木とサイクリングコースをつくり、宿泊施設やスポーツ施設を導入したらどうでしょうか。

市長 菊池川の堤防は、桜を植えるには格好の場所だと思います。例えば七城の桜を考える際には、そこを一つのモデルとしてスタートするのもいいかもしれません。

旭志会場

市民 広域林道沿いに桜を植えていきます。延長していけば、いいサイクリングロードになり四季の里旭志の活性化にもつながると思います。

市長 その桜に住所と氏名が入った名札がついていることに感心させられました。今後、桜ロードをたくさんつくっていきますので四季の里旭志につながることも十分にありえます。地域の皆さんから桜ロードの候補地を提案していただけるとうれしいです。

市民 菊池基準とブランド化について現在の取り組みを教えてください。

市長 今まさに菊池基準についての話を進めているところです。県の基準との整合性がうまくいくよう、県やJA



皆さんがメンバーとなってまちづくりに参加していただきたいと考えています。

市民 農業生産額を高める政策をしていただきたいです。

市長 まず農業政策で力を入れたのは販売戦略です。現在の食のニーズは安心安全です。そのため市全体でまとめていきます。そのためには、「菊池基準」という独自の基準を作る必要があると考えます。また、インターネット販売の仕組みを構築します。そして6次産業化にも取り組んでいきます。

市民 観光客を呼ぶにも菊池には交通



と協議を続けていきます。

市民 施策などに女性の意見をどんどん取り入れて欲しいです。

市長 私が最初に観光戦略会議を行ったとき、女性の少なさに驚きました。観光客は女性が多く、女性に支持されない戦略はありえないと考えます。市では女性の登用率を35%以上と決めていきますので、最低でもその数字を意識して進めていきます。

菊池会場

市民 菊池に点在する巨木を菊池遺産に登録してほしいです。

市長 巨木、名樹を巡る旅が愛好家の間でブームになっています。木も大切な菊池の宝です。これから緑の街をつくりますから、大きい木は基本的には残していこうと思います。菊池遺産に



は有形・無形の99点が登録されていますが、この後が問題です。今までの枠を超えて観光・教育に活用できる企画を進めていきたいと思っています。

市民 高齢化社会が進み、高齢者が増えてきています。正直、将来が不安でたまりません。交流人口の増加も良い考えだと思いますが、定住人口の増加も大事だと思います。

市長 定住化の促進は粘り強く取り組みたいと思います。まずは経済に元気を与えるために交流人口を増やす方策を行っていきます。

市民 教育施策にも一歩踏み込んでいただき、地元を愛する子どもたちを増やしてほしいです。

市長 何の事業をやるにしても結局は人です。長い目で見れば、菊池の発展には郷土愛を持った子どもを育てる教育が一番大事だと思います。

問い合わせ先

市長公室広報広聴係
☎0968(25)7200